

高松体指犬より

VOL. 23



～ゲストランナーの福士加代子さんを囲んで～



～功労者表彰受賞のお二人～



～全国体指参加者全員集合～

**めざせ
オンリーワン!!**

第27回 さわやかママさん

ソフトボール大会

平成十八年十二月五日(日)開催

【さわやかママさん】

優勝 太田体協

準優勝 木太南体協

第三位 松島体協

優勝チームコメント

太田体協女子ソフト部 太田クラブ

「残り一分、三十秒……やったー優勝!!」

十一月五日にさわやかママさんソフトボール大会が開催されました。

二回戦は難なく勝ち、三回戦は未だ勝ち越したことがないチーム。

先制したのは太田。でも僅かに点だけ。途中同点にされ緊迫した雰囲気の中試合は

進みグロブにバシッとボールが収まる音が鳴り響いて試合終了。そして明暗を分ける

抽選。二人一人慎重に……ばんざーい。

準決勝、決勝。そしてついに!!ピッチャーの胴上げで幕を閉じることが出来ました。



第8回 60歳以上男子

スローピッチソフトボール大会

【60歳以上男子】

優勝 新塩屋町体協

準優勝 古高松体協

第三位 一宮体協

優勝チームコメント

新塩屋町校区 川崎 千春

昨年に引き続き、またも栄光の「優勝カッ

プ」を持ち帰って下さいました。さすがが熟年おじ様達に改めて暖かい拍手を心より送らせて頂きます。熟年ソフト部の皆さんは、

他の色々な大会においても数々の優秀な成績を収めており、いつも楽しく、元気良く、練習している姿に、思わず微笑んでしまう

のは、私だけでしょうか?

何はともあれ「優勝だあ!!」おめでとうございました。



ソフトボール大会を終えて

ソフトボール部長 釜埜 房夫

秋晴れのさわやかな素晴らしい天気の下、

「高松市さわやかママさんソフトボール大会」「60歳以上男子スローピッチソフトボール大会」に参加頂きありがとうございました。

また、体育指導委員の皆様には早朝から一日お疲れ様でした。

第8回高松市60歳以上

スローピッチソフトボール大会

木太校区 鎌田 恵理

紅葉間近な五色台の山々を背に晴天のなか、今大会が開催されました。試合は終

始二回戦から今大会優勝チーム・新塩屋町の優勢で進行し、決勝相手は古高松チーム。

八対三で新塩屋町が競り勝ち二年連続優勝杯を手に入れました。

どのチームの選手も手馴れた球さばきと60歳以上とは思えないフットワークには驚かされるばかりでした。お係さんの応援もあつたりして和やかさも垣間見ることができました。

トリムの祭典

林校区 今井由美子

今年は場所をサンポートに移して開催されました。我々体指は例年通り「ニュースポーツ紹介コーナー」を担当。「ディスプレイター9」

「輪投げ」「キャッチボール」「ダイヤゾンボール」「ダーツ」の五種目を紹介しました。

場所もかなり広くなり、十分なスペースをとることが出来、参加された方もゆっくりにした気分が体験できたように思います。アクセスも良かったのか参加者も多く、特に家族連れが多かったのが嬉しかったです。各コーナーでは行列が出来、また、スタンブラリー用の紙&景品が足りなくなったりと、嬉しい悲鳴もあがっていました。

秋晴れの一日、疲れたけれど楽しい一日でした。



太田校区 齋藤 信博

十月九日体育の日、第十二回高松市民スポーツフェスティバル・トリムの祭典が、例年の中央公園からサンポート高松に場所を移して開催されました。

自由広場において、ニュースポーツのディスプレイター9・輪投げ・キャッチボール・ダイヤゾンボール・ダーツの紹介コーナーにそれぞれわかれて、参加者と楽しい時間を過ごしました。

今年も、自転車ワールドフェスタ(2006)との共催ということはもとより、何と言っても絶好のスポーツ日和に恵まれ、受付用紙が不足してしまう程盛況な一日でした。

「第12回市民フェスティバル」

古高松南校区 柳川 邦江

合併後、新生高松として「第12回高松市民フェスティバル」が九月二十四日を皮切りに十月一日、九日、二十一日の四日間実施されました。新競技として「ソフトバレーボール」が加わり、全九種目の競技を盛大に行うことができました。

なかでも注目を浴びたのは、前年まで多くの人々に親しまれてきた「屋島一周クォーターマラソン」からバトンタッチされた「高松ファミリー&クォーターマラソンin AJI」ではないでしょうか。庵治半島の美しい海を眼下に三キロ、五キロ、十二キロの三部門に分かれて走ることができるとあって人気が高まったようです。ファミリーの部では百十二名、壮年男子の部でも三百七十六名という本当にたくさんの方の申し込みがあり、今後、フェスティバルの新しい顔になるのでは……!と期待が高まります。

また、体指OBの諸先輩方にも給水所を担当して頂き、久しぶりの再会に「お元気でしたか?」の声と笑顔が飛び交う場面も見られました。終始和やかな雰囲気の中、無事に大会を終えることができましたのも、諸先輩方の温かい支えと、皆さんの「目指せオンリーワン体指!」の心意気があった



からこそ」と言えるのではないのでしょうか。その心意気を次回の大会に向けて、より一層高めていきたいものです。



～ゲストランナーの福士さんとともに～

「第四十七回全国体育指導委員研究協議会 大分大会」

全国体育指導委員連合会

功労者表彰を受賞して
鶴尾校区 城門 政文

日本を代表する温泉地、湯の街別府において、平成十八年十一月十六日、十七日の両日、「第四十七回全国体育指導委員研究協議会 大分大会」が開催されました。

全国から、体育指導委員、社会体育関係者等、約四千余名の参加があり、会場の別府BCONプラザは熱気で溢れていました。

開式の後、表彰式があり、全国体指連合会功労者表彰を



香川県内三名、高松市より、辻村さんと私が受賞させて戴きました。光栄の極みです。体指の仲間よりの「おめでとう!!」が何よりも心に響きました。今日の自分があるのはよい指導者に恵まれたことだと思います。先輩、仲間、行政関係者の人たちが私にあつては指導者なのです。今後はこの賞におごることなく、更なる自己研鑽に励み、元気で頑張る所存です。本当にありがとうございます。

二日間有意義な全国大会でした。

築地校区 辻村 秀子

「第四十七回全国体育指導委員研究協議会」が、平成十八年十一月十六日、十七日、大分県別府市において開催されました。会場のBCONプラザで、全国より参加された多数の体育指導委員の皆様の中で表彰されたことは感激で一杯です。体育指導委員になりあつたという間の二十二年ですが、皆様の深い理解と地区住民のよき仲間たちに恵まれ、本当にありがとうございます。これからも、健康、仲間、皆様と一体にスポーツを地域に広めたいと思います。



全国体指に参加して

前田校区 篠原 薫

去る十一月十六日、まだ夜が明ける前の五時に私たちを乗せたバスが、全国体指が開催される大分県別府市を目指して中央公園前を発車しました。バスの中に新人体指は私一人、どちらを向いても先輩、しかも役員の方が多く、初めは緊張しましたが、先輩たちが気を遣って下さる形で皆さんの話の輪にも入れていただき、到着するころにはすっかり和やかな気持ちになりました。会場のBCONプラザには全国各地からやつてきた四千人を超す体育指導委員さんの熱気が溢れていました。

やがて開会式、表彰式が始まり、我が高松市からも、平成十八年体育指導委員功労者として、城門会長と辻村理事が受賞されました。その後、基調提案、基調講演等を聴き、体指としての役割や現状、課題等について考えました。

しっかりと勉強した後は宿舎の鉄輪温泉へ移動し旅の疲れを温泉で癒し、夜の宴会で酒を酌み交わして参加された皆さんと交流しました。研究協議会終了後の翌日、翌々日は九州観光にも連れて行っていただき、紅葉の鳴子川、漢谷大吊り橋や、阿蘇山、吉野ヶ里遺跡、柳川のどんこ舟川くだりなど、私には初めてのことはかりでした。

この三日間、体指の勉強ももちろんですが、参加されたみなさんと親睦を図ることが出来ました。また全国体指に参加されたことがない人に、「是非、来年は一緒に参加いたしましょう」、声を大にして私は言いたい

です。楽しかった三日間も、バスが瀬戸大橋を渡り、見慣れた景色が目に見えるともう旅も終わり。私は高松に帰り、これからも体指として責任が果たせるよう頑張っていこうと思えました。今回一緒に参加された体指の皆さん、松野さん、いろいろとお世話になりました。

**第四十七回全国体育指導委員
研究協議会に参加して**

市民スポーツ課 松野 秀啓
第四十七回全国体育指導委員研究協議会が、平成十八年十一月十六日から十七日の二日間、大分県別府市において行われました。今回、参加される体指の皆さんのお誘いもあり、市民スポーツ課で体指の担当六年目にして初めての全国体指参加となりました。

会場のBCONプラザに着いて、全国体指の参加者の多さと会場の熱気に圧倒され驚きました。開会と同時に各表彰式がおこなわれ、高松市からは城門会長と辻村理事が功労者表彰を受賞されました。誠におめでとございます。続いての基調講演では「子どもたちのスポーツ環境を考える」というテーマで福島大学の白石豊教授のお話があり、とても興味深く聞くことができました。

初参加の私にとって驚きや新しい発見がありとても有意義な研修となりました。このような貴重な経験をさせていただき感謝するとともに、もし機会があればまた参加したいと思えます。

**第二十九回高松地区広域
連合健脚大会**

香西校区 西川 良二

十二月三日(文化の日)高松地区広域連合健脚大会実行委員会主催の「チャレンジ・ザ・オーロク」塩江が実施され、高松市の体指は高松コースの沿道警備協力で七台の車に分乗し二十名が参加しました。

今年市町村合併に伴い、去年までの仏生山公園出発のコースは無くなり、中央公園出発の二十五キロコースと香川総合体育館出発の十五キロコースに変更されました。

幸い天候には恵まれましたが、歩いている人には少々気温が高すぎるぐらいだったと思います。

ここ数年高松コースの参加者は普段から歩いている高齢者層が殆どを占めるようになり若い人や家族連れ参加者が無くなり残念に思いますね。

合併町紹介

「国分寺町の豆知識」

国分寺南部校区 天野 智子

国分寺町は全国屈指の盆栽の町で、また錦松発祥の地として知られています。

温暖な気候と豊かな自然にめぐまれた古代から天平ロマンの面影を残す一方で、近年は交通網の発達が著しく、都市近郊の快適なベッドタウンと変貌しながら新たな飛躍を遂げようとしている町です。

また、イベントも多く、夏の「国分寺まつり」秋の「史跡まつり」「文化祭」「グリーンフェスタ」と、そして冬は今年一大イベントと言つていいほどの内容である「国分寺冬のみつり」と同時開催される「スポーツフェスティバル」の(雪合戦)です。本物の雪を使った大会は、県下では初めてではないかと自負しております。今回は小学生を中心とした大会ですが、将来は冬の一大スポーツ大会として定着させていきたいと考えています。



まあ、いつべん見にきまひ。

「ふれあいの町 香南町」

香南校区 山城 雅彦

香川県のほぼ中央に位置する香南町は平成元年に新高松空港が開港し皆さんも一度は訪れた事のある町でしょう。空港周辺には「さぬきこども国」「さぬき空港公園」「グラススキー場」等があり、ファミリーのお出かけスポットとして楽しまれています。また、4年前にオープンした「道の駅 香南楽湯」は癒しの温泉施設として連日多くの人で賑わいをみせています。

夏には「ボン(盆)フェスティバル」秋には香南町のマスコットにもなっている夫婦大獅子で有名な冠禊神社のお祭りがあり地域振興の場として町内外を問わず交流の場となつています。

それから、香南町にはもう一つの顔があります。それは非常にスポーツが盛んで健康増進に力を入れているという事です。各ス

ポーツ少年団、ママさんバレー、シニアのソフトボール等、四国大会や全国大会に数多く出場し、また競技スポーツだけでなく、乳幼児からお年寄りまで色々な世代が参加できるイベントをたくさん開催しています。昨年には総合型地域スポーツクラブとして「香南町」ししまるスポーツクラブが発足し、今まで以上にスポーツを通じて人とふれあう機会が増えました。

皆さんも香南町で楽しくふれあってみませんか？



編集後記

合併後「二回目の「体指だより」ができました。新しく加わった体指の皆さんも行事に慣れてきたかと思えます。総勢百八名今年も力を合わせて高松市のスポーツシーンを盛り上げましょう！もちろん飲み会も忘れずに!!

広報部 鹿庭福久

発行／高松市体育指導委員
連絡協議会
編集人／城門政文
編集／広報社
印刷所／万成社